

# 米倉教公の月間為替市場見通し

## 10月号

ドル/円予想レンジ 99.00 - 104.80 円

### 『米国の大統領選睨みの展開に！』

ドル/円の10月勝敗表

10月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線-陰線
1995年	99.95	101.94	1.99	1.99%	陽線
1996年	111.32	114.05	2.73	2.45%	陽線
1997年	120.43	120.39	-0.04	0.03%	陰線
1998年	136.43	115.8	-20.63	15.12%	陰線
1999年	106.34	104.11	-2.23	2.10%	陰線
2000年	108.04	108.95	0.91	0.84%	陽線
2001年	119.62	122.44	2.82	2.36%	陽線
2002年	121.61	122.48	0.87	0.72%	陽線
2003年	111.45	109.9	-1.55	1.39%	陰線
2004年	110.07	105.72	-4.35	3.95%	陰線
2005年	113.5	116.41	2.91	2.56%	陽線
2006年	118.09	116.94	-1.15	0.97%	陰線
2007年	114.75	115.44	0.69	0.60%	陽線
2008年	106.08	98.44	-7.64	7.20%	陰線
2009年	89.71	90.08	0.37	0.41%	陽線
2010年	83.51	80.41	-3.1	3.71%	陰線
2011年	77.08	78.16	1.08	1.40%	陽線
2012年	77.97	79.79	1.82	2.33%	陽線
2013年	98.21	98.35	0.14	0.14%	陽線
2014年	109.61	112.33	2.72	2.48%	陽線
2015年	119.87	120.59	0.72	0.60%	陽線
平均			-1.00	2.54%	13勝8敗

#### ★10月は円安になりやすい月

1995年以降の過去21年間のドル/円では、13勝8敗と始値から終値で陽線なることが多くとなっている。一方、値幅での平均値は1円の円高となっている。1998年と2008年が円急騰したことで、全体的に円高傾向となっているが、それを除けば円安傾向となっている。変動率は始値から上下に2.54%の変動率となっている。このところの動きとしては、5年連続陽線引けとなっている。10月はNYダウが18勝7敗と強い月になっていることから、リスク選好の動きになりやすいことが円安要因と言えそうだ。また、今年のヒジュラ暦では、10月2日が正月となっており、2009年以降ではNYダウが上昇する傾向が強い。日本株もこの時期は強いことが多いのでリスク選好の動きとなりやすい。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値と



#### ★ドル/円月足では円高基調が継続中

週足チャートでは、16年2月5日週に13週線・26週線が52週線とデットクロスしたが、それ以降は下落基調が強まっている。若干13週線の下落基調が緩やかになってきている。そのため、今月は13週線上抜けや26週線回復出来るかが注目される。9月は何回も13週線上抜けトライしたが、結局は押し戻される格好となった。ただ、下値も大きく3回トライしたが、下抜け出来なかったことから、底堅いとも言える。ストキャスティクス・スローは%Kと%Dが下向きとなっていることから、初旬は円高トライとなる可能性もありそうだ。3点同値は買いに歩ありと言われているので、13週線トライ後の動きには注意が必要となる。10月は傾向として始値より終値にかけて円安になる可能性が高いので、100円割れの下値では拾いところになりそうだ。

## ★まとめコメント

9月には大きな材料が目白押しではあったが、相場は比較的保合いレンジ相場となった。10月はいよいよ米国での大統領選を睨んだ動きとなり、方向感で出てくるかが焦点となりそうだ。日本では第1回米大統領選候補TV討論会では、クリントン有利と報道されているが、実はCNN以外のメディア調査では、トランプ候補有利との結果が多くでている。Drudge Pool：81.5%、TIME誌：58.0%、CBS New York：57.0%、Fox TV：61.4%、Slate：54.3%、フォーチューン誌：51.0%、CNBC：51.0%、Variety：51.5%と軒並み50%超えの支持をとっている。英国のEU離脱に伴う国民投票前の調査でも、EU離脱派が不利とされていながら、結局はEU離脱が決定したことが思い出される。大どんでん返しのトランプ大統領誕生リスクは残っている。

## ○10月の主なイベント

- ・10月01日：中国・国慶節（7日まで）
- ・10月03日：日銀短観、トルコ9月消費者物価指数、米9月ISM製造業景況指数、日経平均採用銘柄入替（採用＝楽天、除外＝日本曹達）
- ・10月04日：RBA理事会、米副大統領候補・TV討論会（バージニア州）
- ・10月05日：米9月ISM非製造業景況指数
- ・10月07日：米9月雇用統計、IMF・世銀総会（ワシントン、9日まで）
- ・10月09日：第2回米大統領候補・TV討論会（ミズリー州）
- ・10月12日：FOMC議事録（9月20－21日分）
- ・10月13日：中国9月貿易収支、英MPC及び議事録公表
- ・10月14日：オプションSQ、中国9月消費者・生産者物価指数、米9月小売売上高、イエレンFRB議長講演
- ・10月16日：アストロ＝満月
- ・10月18日：NZ第3四半期消費者物価指数、英9月消費者・生産者・小売物価指数、米9月消費者物価指数
- ・10月19日：中国9月鉱工業生産・小売売上高・固定資産投資、英8月雇用統計、カナダ中銀政策金利公表、ブラジル中銀政策金利公表、第3回米大統領候補・TV討論会（ネバダ州）
- ・10月20日：トルコ中銀政策金利公表、ECB理事会、EU首脳会議（21日まで）
- ・10月24日：日9月通関ベース貿易収支、中国共産党・六中全会（27日まで）
- ・10月26日：豪第3四半期消費者物価指数、
- ・10月27日：英第3四半期GDP・速報
- ・10月28日：豪第3四半期生産者物価指数、米第3四半期GDP・速報、アストロ＝日経平均変化日（31日まで）
- ・10月31日：ユーロ圏第3四半期GDP・速報

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。